

1 事業実施の成果

部署	目標	成果			摘要
会 員	正会員 26名 協力会員 28名 利用会員 150名	正会員 26名 協力会員 24名 利用会員 160名			協力会員で残念ですが亡くなられた方が2名おります。
職 員	令和5年3月31日現在	正職員	パート	計	備 考
	管理事務	2	1	3	職員の募集を行っています が応募がない状況です。 令和5年2月に法人独自の 折り込みチラシで見学・説 明会の開催をアナウンスし ました。
	支え合い活動	1	0	1	
	よってこ・だんだん	0	0	0	
	グループホーム喜楽・喜楽Ⅱ	9	11	20	
	デイサービスセンター喜楽	3	4	7	
	多機能ケアの喜楽	7	12	19	
	訪問介護の喜楽	3	3	6	
	ケアプラン介護相談の喜楽	2	2	4	
	地域密着デイの喜楽	4	3	7	
	計	31	36	67	
法人役員	理事長 恩田 初男 副理事長 増田実保子 監事 赤坂 一郎	理事 鴫田富美夫 理事 佐藤 富代 理事 大沼 節子	理事 原島 秀克 理事 陶山 典子 理事 曾根 勝 (成島北区長 職)		
部署	目標	成果			摘要
法人全体	① 安全な事業活動で利用者・ 家族や地域住民の生活に 貢献する (事業活動の事故等を減らす)	コロナ感染でクラスターと なった事業所が2ヶ所あっ た。トイレ転倒を防ぐため 寄りかかりバー7ヶ所設置			転倒事故対策は進めたが、コロナの クラスターが発生し安全への目標は 達成されなかった。
	② 法人の安定経営を前進	令和4年度利益 予算： 649.5万円 実績： 603.3万円			予算より実績利益が少なかったが概 ね達成できた。
	③ 働きやすい職場の構築 計画策定⇒実施	意見箱を5月～10月まで 設置し「より良い法人・事 業所」への意見を集めた。			達成できた。今回の意見から項目を 決め令和5年度に実施する。
支え合い活動	理念「会員相互の支え合いで安心して暮らせる地域社会を目指す。」				
	① 協力会員 28名 利用会員 150名 チケット販売目標 900円券 3,000枚 450円券 1,700枚 500円券 5,100枚 100円券 5,600枚	① 協力会員 24名 利用会員 160名 チケット販売実績 900円券 2,478枚 450円券 1,593枚 500円券 5,304枚 100円券 5,064枚		昨年度ほぼ横這いの実績となった。 ⇒ 83% ⇒ 94% ⇒ 104% ⇒ 90%	

	② 会員増加のため、説明会を開催 (運転講習受講者につなげる)	増員 2名 (うち 1 名運転講習受講)	運転講習実施後、活動の幅を広げつつ楽しんで活躍中。
地域の居場所 よってこ松沼	理念「人とのつながりをつくり笑顔になれるところです。」 ① よってこ松沼の発展のために視野を広げて方向性を考える。 新たに発展性のある事業は出来なかった。利用者も限られた 10 人程度の常連さん達で、現状維持が精一杯であった。		
グループホーム 喜楽	理念「地域社会の中で人とのつながりを大切にし、その人らしくあなたと共に暮らします。」		
	① きれい綺麗運動の実施 (ごみ拾い・道路沿いに花壇を作り散歩を楽しむにする。)	利用者と一緒にプランターや花壇作りを行い利用者から「綺麗だね」「花はいいよ」などの言葉が多く聞こえた。	自分たちが植えたことは忘れてしまっていたが心地良く散歩できた
	② ゆとりのある介護の実践	「待つ」を合言葉に支援し、利用者の反応を引き出すことが出来た。	高齢者に必要なケアを今後も取り組む。
	③ リフレッシュ休暇を取る	職員全員が休暇を取れた。	適度な休暇で仕事への意欲が沸いた。今後も継続する。
デイサービス センター喜楽	理念「デイ喜楽は、楽しみをもってゆっくり過ごす、あなたのもう一つの家です。」		
	① 安全で安心できるデイサービスの利用を目指す	感染対策を徹底していたがコロナ感染者が出てしまった。	ご家族・職員間での情報共有を行い、信頼関係を築き安心して利用していただきたい。
	② 安定した利用者の確保を継続	利用者様の状態変化により施設等入所された方が多く増加には繋がらなかった。	PR 活動を行い努力したい。
	③ 利用者さんの楽しみごとを増やす	毎月楽しみごと(美味しいものを食べる)企画を行った。レクも楽しく行えた。	希望に沿ったメニューやレクをこれからも行っていきたい。
多機能ケアの 喜楽	理念「一人ひとりが主人公。私たちは、あなたらしい生活を地域の中で、ご家族と共に柔軟に支えます。」		
	① 基本的な感染予防策を徹底し、体調管理を行い感染を防ぎ、安心して過ごせる場所にする	感染予防策を徹底した。職員やその家族に陽性者が発生したが感染の広がりはなかった。	油断せず、引き続き予防策を徹底する。
	② 報連相の徹底	意識付けは出来たが出来る職員と出来ない職員がいた。	引き続き意識づけを行い報連相を忘れないようにする。
	③ 新規利用者の獲得	増えた時期もあったが入院などで減ってしまい達成できなかった。	FAX による情報提供や営業などを行いながら利用状況を見直し依頼に対応出来るようにする。

地域密着サービスの喜楽	理念「私たちは、本人と家族が安心して自宅生活を続けられるよう支援します。」		
	① 事業所の安定経営 (予算を達成させる)	予算を高めを設定していなかったこともあり、令和4年度全体としては達成された。 (達成率100%)	昨年11月以降から利用者数が減少。12月～2月は予算を下回ったが3月は盛り返し達成された。
	② 利用者のやりがいと地域貢献 (アクリルたわしや雑巾作りを行い、年度内に2回以上地域に配布を行う。)	昨年10月に「スワズキッズ」「たてくら学童」「つつじ野学童クラブ」の3か所に1回目の配布を行った。2回目は年度内に実施できず4月に配布した。(達成率50%)	作業の際、学童の子供たちに使ってもらおうと伝えると「それは良い事ね!」と笑顔が見られた。2回目配布時の「つつじ野学童クラブ」では同行した利用者様と子供たちが触れ合うことが出来た。
③ 職員間の連携と介護知識、技術を向上させていく(学習かケース会議を月に1回行う。)	毎月の職員会議で実施することが出来た。ケース会議は1回。コンタクトケアや弾性包帯の巻き方、ビジネスマナー等を行った。(達成率70%)	毎月実施することはできたが、実際に利用している利用者様に対応した学習が少なかった。各職員のリクエストに応えられると尚良かった。	
訪問介護の喜楽	理念「私たちは「笑顔」「安心」「生きる気力」を届けます。」		
	① しっかりコミュニケーションを取り、利用者に安全・安心なサービスを行っていく。	それぞれのヘルパーが利用者とのコミュニケーションを取り、適切なサービスが出来た。	事故や利用者との大きなトラブルもなく、安全、安心なサービスを行うことが出来た。
② 特定事業所加算の継続	継続できた。	前年度同様、算定条件を満たすことが出来た。	
ケアプラン介護相談の喜楽	理念「介護に係る相談を提供することで地域に貢献する。」		
	① 利用者の生活を点から線につなげていく。	居宅で支援が難しいと早期に見極め、小規模多機能に移行した。	他の事業所と連携しながら内服管理、通院介助等を行った。
	② 利用者の終の棲家をACPを基本にしながらかえ、プランに落とす。	在宅の生活が困難であれば施設や小規模多機能を勧め、本人家族の不安が軽減した。	毎月のモニタリングで本人、家族の意向を確認しサービス調整していく。
③ 研修を定期的に行い、知識を実践に変えていく。	毎日の打ち合わせで研修の見直し、意見交換をすることで技術の向上を実感した。	県、市の研修には積極的に参加した。	

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
支え合い活動	日常生活で誰かの手助けが欲しい時、会員相互の支え合いで安心して暮らせる地域社会を目指す活動。	活動日数 308日 延べ活動回数 2950回	利用者の自宅他	延活動者数 3101人	何らかの理由で日常生活に困っている人延べ利用者数 3556人
地域の居場所 よってこ松沼	地域の人々がだれでも気軽に来られ、親しく笑顔になれる交流の場として居場所を提供。今年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、随時の休業を余儀なくされた。 4月、5月は休業	計74日 行い、 10時～ 14時で 営業した	館林松沼町 よってこ 松沼	理事 2名 スタッフ 延べ226人	延べ来所者 1015人 営業日数合計 74日 1日平均 13.7人
グループホーム 喜楽の事業	介護保険において認知症の人へ共同生活 住居において、介護や生活支援サービスを 提供し、地域との繋がりを大切に して喜びと安らぎを持って生活してもらう 事業	365日 24時間	グループ ホーム 喜楽 喜楽II	管理者1名 看護師1名 正職介護職 員 8名 パート介護 職員10名 計20名	認知症のため自宅での生活 が困難な人 喜楽 8名 喜楽II 9名 共用デイ 2名 計 19名
デイサービス 事業	介護保険において認知症の人の自宅での 生活を支えるための通いの介護サービ ス事業	310日 日曜日 及び 12/30～ 1/2休業	デイサー ビスセン ター喜楽	管理者1名 正職員2名 パート介護 職員 4名 計 7名	館林在住で認知症のある方 契約者 26名 延べ利用者数 2921名 1日平均 9.4名
多機能ケアの 喜楽の事業	利用者個別の利用の仕方に対応し、通所 ・訪問・ショートステイを組み合わせた 支援を行う。地域連携として、民生委員 、医療機関、利用者がよく行く店や食堂 、地域の住民と連絡を取り合っている。	365日 オープン 日以来休 業日無し	通所、泊 り、訪問 を組み合 わせた利 用	管理者1名 (看護師兼 務) 正職員6名 パート職員 11名 計18名	柔軟な利用に対応するため 職員の増員を含め、配置を 考えていく。 契約者数 23名
地域密着デイ の喜楽の事業	介護保険において自宅での生活を支える ため通いの介護サービスを行う事業	日曜日 及び 12/30～ 1/2休業	地域密着 デイの喜 楽	管理者1名 看護師2名 (相談員兼 務1名) 正職員2名	契約人数 24名 延べ利用者数 3055名 1日平均 9.98名 館林在住で介護認定を受け た方

				パート介護職員 2名 計 7名	
訪問介護事業	介護保険において自宅での生活を支えるために訪問して介護・家事援助を行う事業	日曜日及び 12/30～ 1/2休業	利用者宅を訪問	管理者1名 正職員2名 パート介護職員 3名 計 6名	自宅で介護・家事援助の必要な方 利用者数 63名 介護 41名 予防 22名
ケアプラン 介護相談事業	介護保険において自宅での生活を支えるために必要な介護サービスの提供を利用者等と相談し、サービスの提供を支援調整する事業	日曜日及び 12/30～ 1/2休業	ケアプラン介護相談の喜楽事務所	管理者1名 介護支援専門員 2名 事務員1名 計 4名	介護サービスが必要な方 利用者数 117名 要介護 90名 要支援 27名
関連事業 ・認知症の人と家族の会 「家族のつどい」事業 生活支援体制整備事業勉強会・協議体会議参加	公益社団法人「認知症の人と家族の会」が開催する「家族のつどい」東毛地域を担当した。認知症の人を介護している家族等の交流を開催。家族の悩みや困り事を共有することによって介護負担の軽減を図る。 県及び東毛地区の各自治体が開催する勉強会に1回参加した。	15回 開催 4年5月 生活支援 コーディネーター 研修	太田 館林 伊勢崎 前橋市	世話人会議 12回参加 講師参加	認知症の人を介護している家族等交流会 延べ参加者約 81名 介護予防、日常生活支援総合事業への移行について検討した。
会報の発行	年3回会報を発行して活動の内容を広報している。46号は多々良地区近隣にミニカレンダーと共に4500部のポスティングを行った。	年3回 発行日	5900部印刷 令和4年 7月25日 令和4年11月25日 令和5年 3月25日	会員・サービス利用者等に配布 第45号(700部) 第46号(4500部) 第47号(700部)	
ホームページ	最新情報を日々入力し、毎月15日には部門ごとにブログを更新するよう努めた。求人情報も適時更新している。	http://otagaisamaegao.net/			

(2) 収益事業

- ・収益事業の実施はありませんでした。

3 会議の開催に関する事項

(1) 第23回定時社員総会

- ・日時 令和4年5月11日(水曜日) 午後6時00分～7時30分
- ・会場 成島北区民会館 群馬県館林市北成島町2881-2
- ・議題 第1号議案 令和3年度事業報告・決算報告 監査報告
第2号議案 令和4年度事業計画・活動予算
- ・その他 法人戦略5年後ビジョン(2022年～2026年度)

(2) 理事会 全9回

事業計画に基づき事業の進捗状況報告や意見検討を行った。

	開催日	主な会議の内容
第1回	4年 4月15日	令和3年度決算、倫理規定作成、4年5月総会役割検討、年度目標確認
第2回	4年 6月17日	介護保険「ライフ」の取組、アルコールチェック対応、よってこ松沼再開報告
第3回	4年 7月15日	パワハラ防止対策、協力会員募集説明会報告、車両譲受検討、6月昇給報告
第4回	4年 9月16日	講演会内容検討、福祉有償運送講習機関断念報告、活動状況報告
第5回	4年10月21日	講演会内容報告、グループホーム嘱託医報告、中間決算報告
第6回	4年11月18日	ストレスチェック開始報告、年末カレンダー配布、インフルエンザ補助
第7回	5年 1月20日	意見箱から職員の意見内容確認及び法人取組む事項検討、クラスター状況報告
第8回	5年 2月17日	北成島町買い物ツアー、嵐の湯建物購入、人材確保戦略について
第9回	5年 3月17日	令和5年度法人目標、役員変更、昼食代値上げについて

(3) 責任者会議 毎月1回 全12回

行事予定や各部署での課題を担当責任者で共有し、意思統一と部署間の情報共有を行った。

(4) 支え合い活動

- ①協力会員総会報告会 コロナ禍により中止
- ②協力会員懇談会 コロナ禍により中止
- ③協力会員募集説明会 R4.7.15 文化会館にて3名参加、内2名入会

(5) よってこ松沼

- ①運営検討会 開催実績なし
- ②スタッフ会議

キッチンスタッフ・デイスタッフによる毎月行事予定、メニューなどの検討を行った。

	開催日	内 容
第1回	令和4年 5月23日(月)	令和4年度運営の基本方針
第2回	令和4年 6月27日(月)	カレーとうどんのメニューで運営再開
第3回	令和4年 7月25日(月)	交流イベントの検討、8月から定食を提供
第4回	令和4年 8月25日(木)	イベント提供者の情報集め、献立検討
第5回	令和4年 9月26日(月)	子ども食堂、明るい未来ネットとの交流検討
第6回	令和4年10月24日(月)	オートミール助成金獲得、活用の検討
第7回	令和4年11月24日(木)	12月の松沼町音楽会の検討 ※11/14 大泉町社協から視察3名
第8回	令和4年12月19日(月)	今後につながるイベントの検討
第9回	令和5年 1月30日(月)	ランチの値上げ検討、朗読会の計画

第10回	令和5年 2月23日(木)	スタッフの引退があり人手不足の検討
第11回	令和5年 3月23日(木)	来年度もランチ値上げなし、利用料の検討

④ 広報活動

ホームページの更新は殆どできなかった。多々良沼公園での体操会は一定の成果はあり、散歩の途中に加わってくれる人もあったが、「よってこ松沼」利用にまで繋がらなかった。

(6) グループホーム喜楽

- ①運営推進会議 奇数月1回 全6回、書面にて開催
- ②家族会 年1回 書面にて開催
- ③職員会議 毎月1回 全12回(ケアプラン会議は奇数月、全6回)
- ④避難訓練 毎月1回 消防署立ち合い…6月、11月

(7) デイサービスセンター喜楽

- ①家族のつどい 今年度もアンケートのみ実施し、結果を報告した。
- ②春と秋の観光行事 外出自粛のため季節ごとの散策とし、室内イベントを多く取り入れた。
- ③職員会議 毎月1回 全12回
- ④運営推進会議 グループホームと合同 全2回
- ⑤避難訓練 毎月1回

(8) 多機能ケアの喜楽

- ①職員会議 毎月1回 全12回
- ②家族会 年1回
- ③運営推進会議 グループホームと合同 全6回
- ④避難訓練 毎月1回

(9) 地域密着デイの喜楽

- ①職員会議 毎月1回 全12回
- ②運営推進会議 グループホームと合同 全2回
- ③避難訓練 毎月1回

(10) 訪問介護の喜楽

- ①学習会 毎回テーマを決めて学習し、サービス向上に繋げる。 全4回
- ②職員会議 毎月1回 全12回
利用者サービスのモニタリングと状況確認・日程等を調整する。

(11) ケアプラン介護相談の喜楽

- ・地域個別ケア会議 なし
- ・他事業所との事例検討会 年3回(トータルケアサービス、東毛光生園)
- ・職員会議 毎月1回 全12回
- ・定例会議 毎週1回 全利用者を全職員が理解するために情報共有した。
- ・情報交換会 毎月1回 全12回 多機能・認知症デイ・地域密着デイと合同
各事業所の利用者情報を共有し、適切なサービスに繋げた。

(12) ボランティア慰問

本年度は新型コロナウイルス感染拡大により、ボランティア慰問はすべて中止とした。